

㈱アタゴの紹介

2010.12.26

会社概要

本 社 東京都板橋区本町32 - 10 設 立 1940年(昭和15年)
代表者 代表取締役社長 雨宮 秀行 資本金 9600万円
総資産 38億円 売上高 約18億円(2009年6月期)

事業内容 科学機器(主として屈折計)の開発製造卸販売並びに輸出

事業所 関西支店・寄居工場(埼玉県大里郡寄居町藤田80)・USA支社
インド販売社・タイ販売社・ブラジル販売社・イタリア販売社

注)・新工場(埼玉県深谷市)着工(2010年7月)

・年内に中国初の販売会社(フジサンケイビジネスアイ 2010.12.10)

社員数 日本 112名 海外 40名

格 付 世界的に有名な格付け会社「スタンダード&プアーズ社」による「日本S
ME格付け」において、2007年と2008年2年連続で当社は最高位の
『aaa(トリプル・エイ)』を付与された。

㈱アタゴは1940年の創業以来、屈折計を中心に数々のオプトエレクトロニクス製品を開発・製造・販売する企業である。

屈折計は「光の屈折」という現象を応用して、液体中に溶解している固形分(糖・塩・酸・タンパク質など)の濃度を測定する器械で、溶解している物質が糖であれば糖度計、塩であれば塩分計、複数の溶解物質であれば濃度計と呼んでいる。食品工業から石油化学、金属加工、臨床分野に至るまで様々な分野で活用されている。

1950年に輸出を開始し、欧米を中心とする8社の競合企業の中、「アタゴブランド」を浸透させることに成功し、信頼ブランドとして国内はもとより世界154カ国に及ぶユーザーから高く評価されている。国内販売市場9割、世界販売市場3割のシェアを誇る。

中小企業白書(2010年度版)のP.175に「知的財産保護により自社のブランド維持に努める企業」として当社が紹介されている。

製 品

ポケット糖度計PAL(パル)、ペン糖度・濃度計、手持屈折計、デジタル糖度計パレット、アッペ屈折計、多波長アッペ屈折計、デジタル屈折計RX-iシリーズ